

The Ushiku Times

NO.3 April. 7. 2016

茨城県立牛久高等学校 校長室から

平成28年度 第37回入学式

春の雨が降り、桜が残る中、多くの御来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、4月7日（木）午前10時から牛久高等学校第37回入学式が挙行されました。

平成28年度は、242名の新入生を迎えました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのすがすがしい顔がとてもまぶしく感じられました。

本日の入学式での式辞で伝えたいことは、次のとおりです。

～ この混沌とした21世紀に、若い力こそが希望そして光 ～

1 「これからどう生きていくか」、「生きるとは何か」を学ぶ。

一度きりの人生。自分自身を大切に、精一杯生きる。

2 「人のこころの痛みが分かる」人間になる。

優しい愛で育ててくださった方々に感謝する。

もう一度「絆」という言葉の意味を考えよう。

3 「明るく、たくましく、優しく」学び育つ。



私は無駄にこの世にうまれてきたのではない

また人間として生まれてきたからには

無駄にこの世を過ごしたくはない

私がこの世に生まれてきたのは

私でなければできない仕事だ

何か一つこの世にあるからなのだ

それが社会的に高いか低いかわ

そんなことは問題ではない

何か一つこの世にあるからなのだ

それが社会的に高いか低いかわ

そんなことは問題ではない

その仕事は何であるかを見つめ

そのために精一杯の魂を打ち込んでゆくとところに

人間として生まれてきた意義と

生きてゆく喜びがあるのだ

相田 みつを

